

AMED 未来医療プロジェクト公開セミナー
開催趣意書

「国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）では、「未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業（2014年～）」において、脳卒中により障害された運動や知覚の機能を回復する医療機器・システム の開発を進めています。現在 BMI システムは医師主導治験へと展開され、本年 11 月には、開発された各種システムを統合したスマートリハ室プロトタイプが開設されました。

本セミナーでは、ブレイン・マシーン・インターフェースなどを用いた上肢機能の治療システムや外骨格ロボットを活用した歩行機能の治療システムを統合したスマートリハ構想について解説し、さらにスマートリハ室プロトタイプをご紹介します。さらに、体系的な先進リハビリテーションを社会に普及していくための戦略的取り組みについて意見を交換するための企画として本セミナーを開催します。

慶応義塾大学医学部リハビリテーション医学教室
教授 里宇明元

事務局

慶應義塾大医学部リハビリテーション医学教室 特任准教授 金子文成
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 4360 番地 湘南慶育病院内分室
TEL: 0466-41-9208, E-mail: f-kaneko@keio.jp

AMED 未来医療プロジェクト公開セミナープログラム

**スマートリハ構想
—プロトタイプを紹介と意見交換—**

日時：2018年2月24日 14時～17時20分

場所：湘南慶育病院 2階 多目的室

〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 4360 番 (<http://keiiku.gr.jp/intro/access.htm>)

事前参加登録

ホームページより登録をお願いします

URL: <https://sites.google.com/site/amedseminar2018/home>

14:00～17:20

1. 開会の挨拶・趣旨説明 (5分)
2. スマートリハ構想：里宇明元 (慶應義塾大学) (30分)
3. スマートリハ室プロトタイプの紹介 (40分)
 - ・湘南慶育病院におけるシステムの紹介：赤星和人 (慶應義塾大学)
 - ・スマートリハの実際：金子文成 (慶應義塾大学)
4. 見学・デモ (60分)

グループに分かれて各開発品を巡回 (一品目あたり 5分程度)
5. 休憩 (10分)
6. パネルディスカッション (50分)
 - ・小林 毅 (厚生労働省)
 - ・小岩 幹 (社会医療法人北斗 北斗病院)
 - ・水野勝広 (慶應義塾大学)
 - ・宮井一郎 (社会医療法人大道会 森之宮病院)意見交換
7. 閉会の挨拶 (5分)